

岡山大学文学部講演会

西島伝法×宮内悠介対談

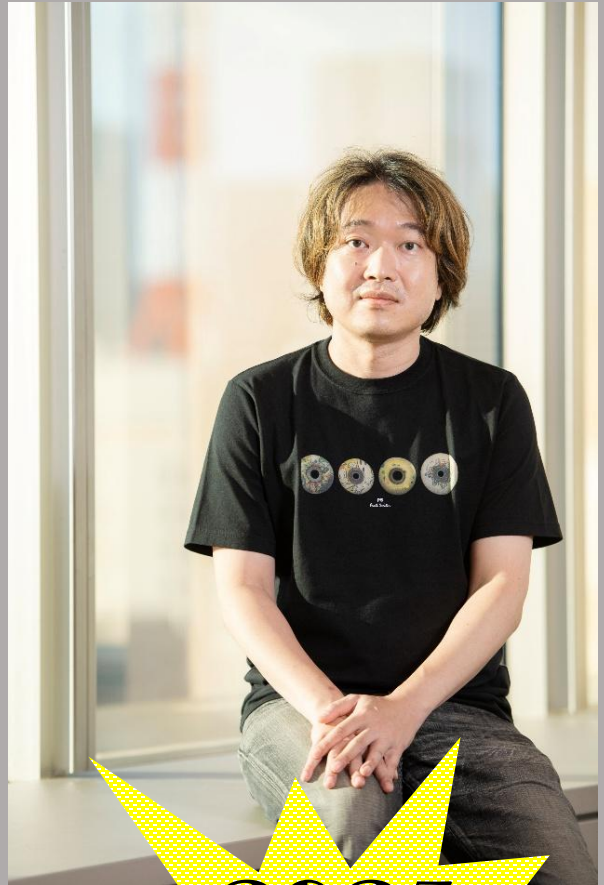
SF

小説を読む、書く、語る。

提供／朝日新聞出版写真映像部



@福森クニヒロ



2025
Sep. 12

日 時：2025年9月12日（金）18:00～20:00（開場17:30）

場 所：岡山大学津島キャンパス文法経1号館20番講義室

お問い合わせ先：本田晃子（e-mail：ahonda@okayama-u.ac.jp）

参加費無料・事前登録不要

西島伝法×宮内悠介対談

SF小説を読む、書く、語る。

日時：2025年9月12日（金）18:00～20:00（開場17:30）

場所：岡山大学津島キャンパス文法経1号館20番講義室

参加費無料・事前登録不要

西島伝法（とりしま・でんぽう）

1970年生まれ。2011年に短編「皆勤の徒」で第2回創元SF短編賞を受賞し、同作を含む短編集『皆勤の徒』（東京創元社、2013年）で第34回日本SF大賞を受賞（のち、英訳・仏訳も出版）。初の長編となる『宿借りの星』（東京創元社、2019年）で第40回日本SF大賞を受賞。そのほか代表作として、『るん(笑)』（集英社、2020年）、『オクトログ 西島伝法作品集』（早川書房、2020年）、『奏で手のヌフレツン』（河出書房新社、2023年）など。

宮内 悠介（みやうち・ゆうすけ）

1979年生まれ。2010年に短編「盤上の夜」で第1回創元SF短編賞・選考委員特別賞を受賞し、同作を含む短編集『盤上の夜』（東京創元社、2012年）で第33回日本SF大賞を受賞。『ヨハネスブルグの天使たち』（早川書房、2013年）が第34回日本SF大賞特別賞、『カプールの園』（文藝春秋、2017年）が第30回三島由紀夫賞、『あとと野となれ大和撫子』（2017年、KADOKAWA）が第49回星雲賞を授賞。そのほか代表作として、『ラウリ・クースクを探して』（朝日新聞出版、2023年）、『暗号の子』（文藝春秋、2024年）など。

SF作家として精力的に活躍されているお二人を岡山大学にお招きし、SFというジャンルの特色や魅力、お二人の読書歴や創作の手法などについてお話していただきます。参加費無料・事前登録不要で、どなたでも聴講いただけます。奮ってご参加ください。

お問い合わせ先：ahonda@okayama-u.ac.jp
（本田晃子／岡山大学文学部）

